

摂津市立小中学校 通学区区域等審議会

鳥飼地域における学校規模適正化について

令和4年9月2日（金）
摂津市教育委員会

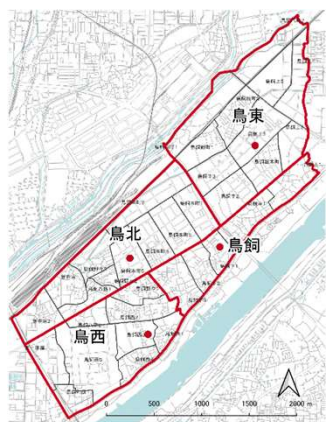
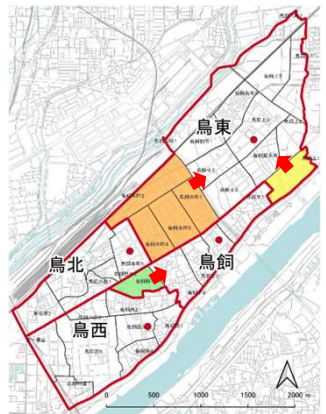
1. 適正化パターンの検討	2
～「校区再編」「統合」「小中一貫校」毎のシミュレーション～	
2. 学校施設の検討	8
3. 通学距離の検討	10
4. まとめ	12

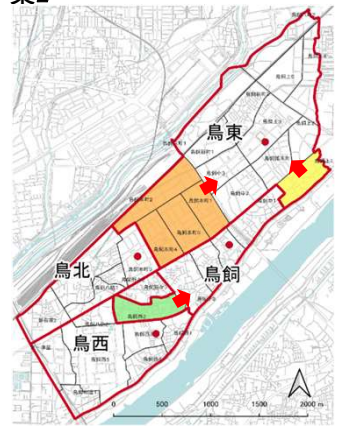
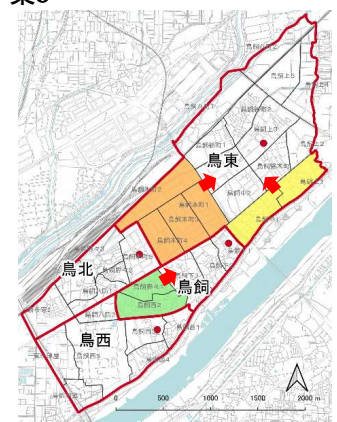
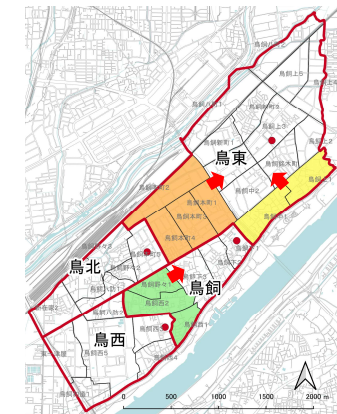
1. 適正化パターンの検討【校区再編】

■校区再編による児童数・学級数のシミュレーション (小学校4校を統合せず、校区を再編)

- a. 小規模化は鳥飼小と鳥飼東小で進んでいるため、基本はそれぞれ隣接する鳥飼西小及び鳥飼北小からの児童数の東西方向の移動を行うが、鳥飼東小が特に小規模であることから、鳥飼小から鳥飼東小への南北方向の児童数の移動も選択肢に加える。
- b. 再編の最小単位は町丁目単位とする。

●2027年推計 網掛けは12学級未満


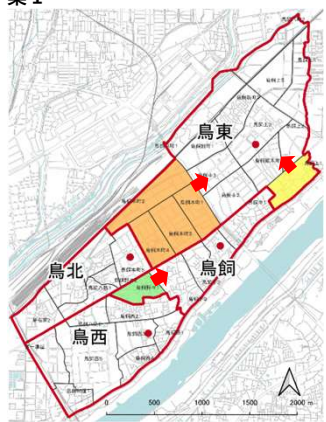
再編案	学年	児童数(人)				学級数(学級)			
		鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東	鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東
現行校区	全学年	154	395	289	103	6	14	12	6
	6年生	27	77	49	20	1	3	2	1
	5年生	22	69	40	21	1	2	2	1
	4年生	30	59	52	24	1	2	2	1
	3年生	20	72	55	15	1	3	2	1
	2年生	29	58	42	14	1	2	2	1
	1年生	26	60	51	9	1	2	2	1
案1	全学年	204	322	238	177	9	12	10	7
	6年生	37	63	40	33	2	2	2	1
	5年生	32	56	33	31	1	2	1	1
	4年生	36	48	43	38	2	2	2	2
	3年生	30	59	45	28	1	2	2	1
	2年生	36	47	35	25	2	2	1	1
	1年生	33	49	42	22	1	2	2	1

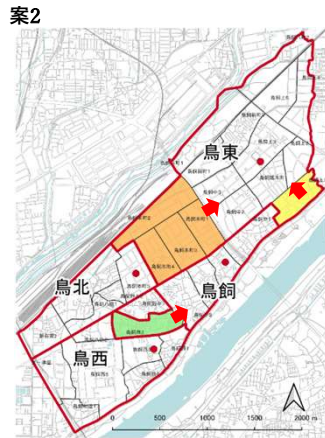
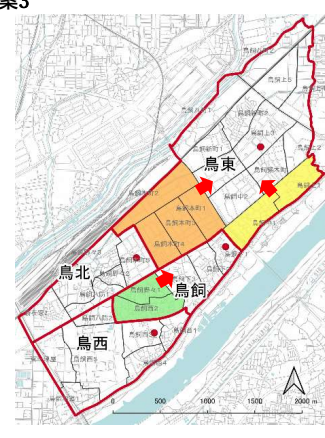
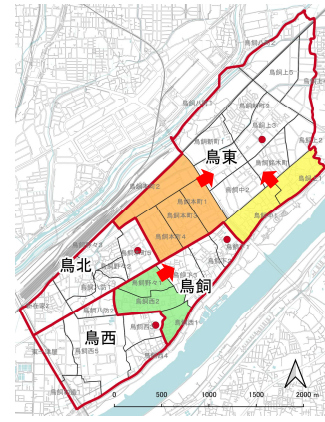
案2	全学年	256	270	238	177	12	12	10	7
	6年生	47	53	40	33	2	2	2	1
	5年生	41	47	33	31	2	2	1	1
	4年生	44	40	43	38	2	2	2	2
	3年生	40	49	45	28	2	2	2	1
	2年生	43	40	35	25	2	2	1	1
	1年生	41	41	42	22	2	2	2	1
案3	全学年	292	196	238	215	12	8	10	9
	6年生	55	38	40	40	2	2	2	2
	5年生	48	34	33	37	2	1	1	2
	4年生	48	29	43	45	2	1	2	2
	3年生	48	36	45	33	2	2	2	1
	2年生	47	29	35	32	2	1	1	1
	1年生	46	30	42	28	2	1	2	1
案4	全学年	307	181	238	215	12	6	10	9
	6年生	58	35	40	40	2	1	2	2
	5年生	50	32	33	37	2	1	1	2
	4年生	50	27	43	45	2	1	2	2
	3年生	51	33	45	33	2	1	2	1
	2年生	49	27	35	32	2	1	1	1
	1年生	49	27	42	28	2	1	2	1

1. 適正化パターンの検討

■校区再編による児童数・学級数のシミュレーション
(小学校4校を統合せず、校区を再編)

●2032年推計 網掛けは12学級未満

再編案	学年	児童数(人)				学級数(学級)			
		鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東	鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東
 現行校区	全学年	141	373	290	80	6	12	12	6
	6年生	24	58	49	9	1	2	2	1
	5年生	23	61	46	15	1	2	2	1
	4年生	23	61	47	14	1	2	2	1
	3年生	23	63	48	14	1	2	2	1
	2年生	23	64	50	14	1	2	2	1
 案1	全学年	186	304	239	155	6	12	12	6
	6年生	31	47	40	22	1	2	2	1
	5年生	30	50	38	27	1	2	2	1
	4年生	30	50	39	26	1	2	2	1
	3年生	31	51	40	26	1	2	2	1
	2年生	31	52	41	27	1	2	2	1

 案2	全学年	234	256	239	155	12	12	12	6
	6年生	38	40	40	22	2	2	2	1
	5年生	38	42	38	27	2	2	2	1
	4年生	38	42	39	26	2	2	2	1
	3年生	39	43	40	26	2	2	2	1
	2年生	39	44	41	27	2	2	2	1
 案3	全学年	274	185	239	186	12	6	12	6
	6年生	44	29	40	27	2	1	2	1
	5年生	45	30	38	32	2	1	2	1
	4年生	45	30	39	31	2	1	2	1
	3年生	46	31	40	31	2	1	2	1
	2年生	46	32	41	32	2	1	2	1
 案4	全学年	288	171	239	186	12	6	12	6
	6年生	46	27	40	27	2	1	2	1
	5年生	47	28	38	32	2	1	2	1
	4年生	47	28	39	31	2	1	2	1
	3年生	48	29	40	31	2	1	2	1
	2年生	49	29	41	32	2	1	2	1

1. 適正化パターンの検討

■ 小学校規模適正化のパターン

パターン	小学校の組み合わせ	適正規模	検討結果
① 小学校4校を統合せず、校区を再編	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 鳥飼西小 鳥飼北小 鳥飼東小 	×	小学校4校を統合せず、校区再編を行うだけでは小規模校を解消することはできない
② 小規模校2校のみ統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼東小 (新小A) 鳥飼西小 鳥飼北小 	○	鳥飼小と鳥飼東小を統合し、校区を再編する場合、小規模校の解消が可能
③ 2校ずつ統合(東西)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 (新小B) 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小C) 	○	新小Bは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 新小学校Cは期中は適正規模を維持できる
④ 小規模校2校と鳥飼西小の3校を統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 + 鳥飼東小 (新小D) 鳥飼北小 	○	新小Dは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 鳥飼北小は2057年を除き期中は概ね適正規模を維持できる
⑤ 小規模校2校と鳥飼北小の3校を統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小E) 鳥飼西小 	○	新小Eは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 鳥飼西小は期中は適正規模を維持できる
⑥ 小学校4校を1校に統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 + 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小F) 	×	期中はすべて18学級を上回る

1. 適正化パターンの検討

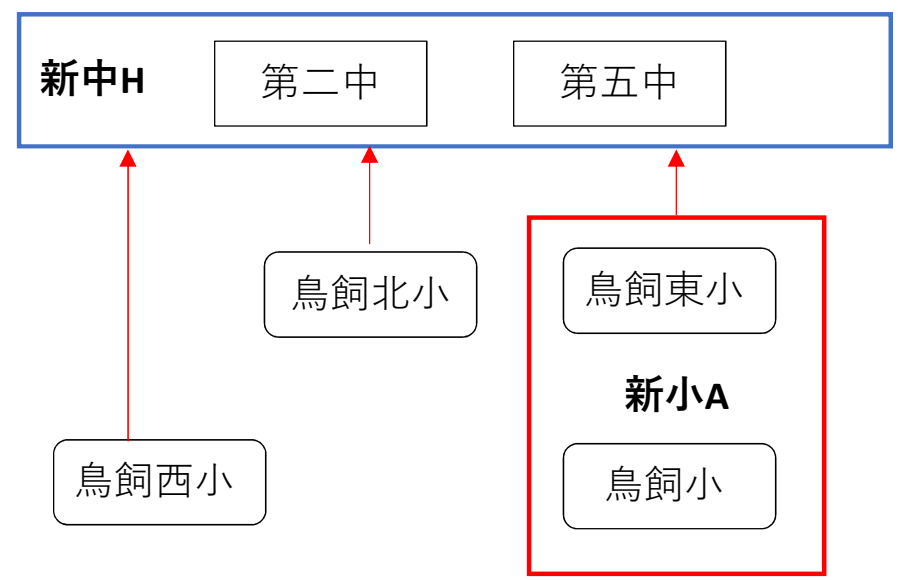
■ 中学校規模適正化のパターン

パターン		小学校の組み合わせ	適正規模	検討結果
⑦	中学校2校を統合せず、校区を再編	第二中、第五中	×	両校とも2027年から小規模校となることから、どのように校区を再編したとしても小規模校化を避けることができない
⑧	中学校2校を統合	第二中 + 第五中	○	新中Hは当初適正規模を上回るが、その後適正規模を維持する

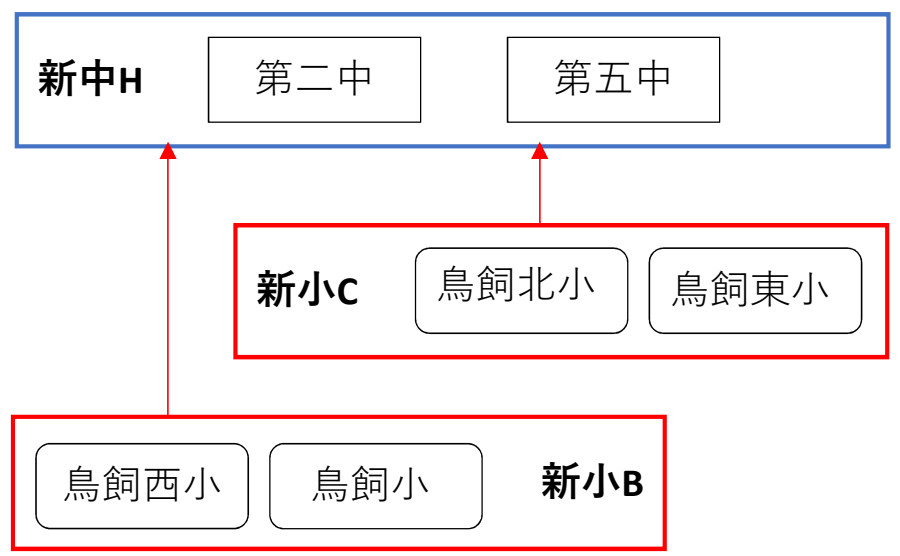
1. 適正化パターンの検討

■検討対象となる小学校及び中学校の組み合わせパターン

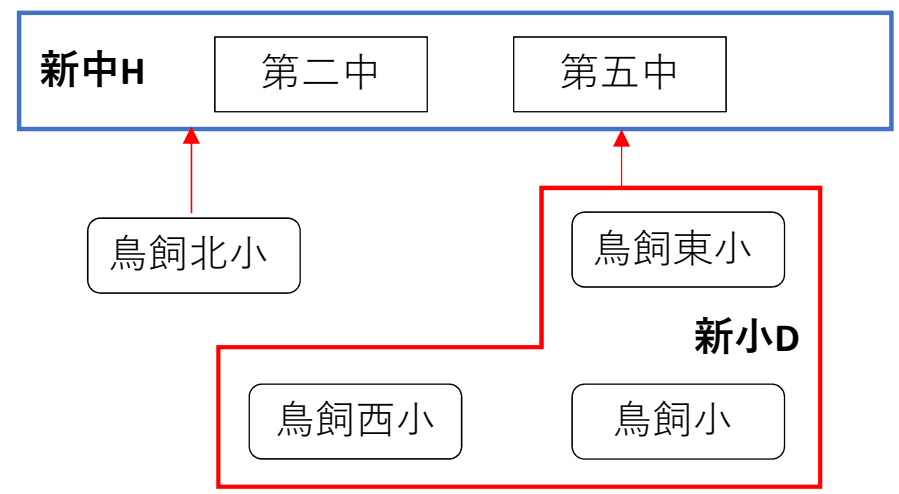
パターン②



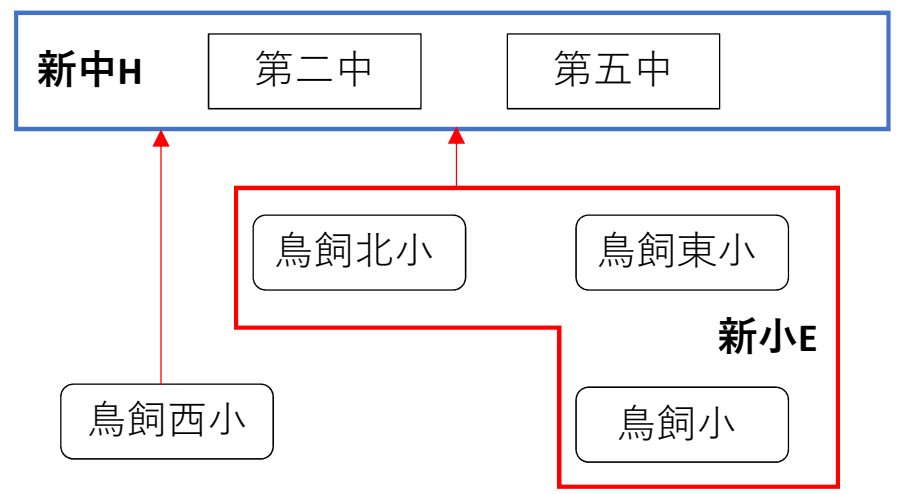
パターン③



パターン④



パターン⑤



【参考】 小中一貫教育における校舎の設置状況の分類

区分	校舎の設置状況
<p>① 【いわゆる施設一体型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている (小学校と中学校の校舎が渡り廊下等でつながっているものを含む)</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>② 【いわゆる施設隣接型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>③ 【いわゆる施設分離型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>④ その他</p> <p>施設一体型校舎と施設分離型校舎が併存している場合など</p>	<p>(イメージ)</p>

注) □は校舎を、■は敷地を示す。

※ 本資料は、「小中一貫教育等についての実態調査」において施設形態を分類するために校舎の設置状況を整理したもの。

鳥飼地域における学校規模適正化について⑧

2. 学校施設の検討

①小学校施設の検討

- ※1 物理的に普通教室として利用可能なサイズを持った居室。ただし、理科室、図工室、コンピュータ室等の専用教室、職員室、給食室等、体育館関係を除く。なお居室を2分割して使用している場合は0.5とした。また、多目的ホールについては教室2室分が用いられている場合2と数えた。(44頁参照)。
- ※2 学級数は各校とも1980年前後にピークを迎え、その後減少が進んだのち一旦増加に転じ、2008年に小さなピークを迎えていることから、2008年時点の学級数は現施設でも確保可能と想定した。
- ※3 支援学級数については、2021(令和3)年時点で最も支援学級比率が高い学校に準じて普通学級：支援学級＝3：2として試算した。

- ・ 既設校舎は統合に伴う学級数の増を収容できる。

パターン	統合先	施設の状況				2032年に確保すべき学級数 ※3	確保すべき学級数に対応する方策
		現状		参考			
		学級数 上段：普通 下段：支援	左記以外 の居室数 ※1	2008年の 学級数 ※2	ピーク年の 学級数		
②-1 新小A (鳥飼小+鳥飼東小)	鳥飼小	8 (4)	12	12 (1)	1983 (36 (1))	11 (8)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
②-2 新小A (鳥飼小+鳥飼東小)	鳥飼東小	7 (3)	9	12 (2)	1984 (17 (1))	11 (8)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
③ 1	新小B (鳥飼小+鳥飼西小)	12 (8)	11	19 (2)	1981 (39 (2))	18 (12)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
	新小C (鳥飼北小+鳥飼東小)	12 (8)	11	19 (3)	1983 (27 (1))	12 (8)	既存教室を活用
③ 2	新小B (鳥飼小+鳥飼西小)	8 (4)	12	12 (1)	1983 (36 (1))	18 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地)
	新小C (鳥飼北小+鳥飼東小)	7 (3)	9	12 (2)	1984 (17 (1))	12 (8)	校舎増築による対応 (既存敷地、もしくはせんだん公園)
④-1 新小D (鳥飼小+鳥飼西小+鳥飼東小)	鳥飼西小	12 (8)	11	19 (2)	1981 (39 (2))	18 (12)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
④-2 新小D (鳥飼小+鳥飼西小+鳥飼東小)	鳥飼東小	7 (3)	9	12 (2)	1984 (17 (1))	18 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地、もしくはせんだん公園)
④-3 新小D (鳥飼小+鳥飼西小+鳥飼東小)	鳥飼小	8 (4)	12	12 (1)	1983 (36 (1))	18 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地)
⑤-1 新小E (鳥飼小+鳥飼北小+鳥飼東小)	鳥飼北小	12 (8)	11	19 (3)	1983 (27 (1))	18 (12)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
⑤-2 新小E (鳥飼小+鳥飼北小+鳥飼東小)	鳥飼東小	7 (3)	9	12 (2)	1984 (17 (1))	18 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地、もしくはせんだん公園)
⑤-3 新小E (鳥飼小+鳥飼北小+鳥飼東小)	鳥飼小	8 (4)	12	12 (1)	1983 (36 (1))	18 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地)

2. 学校施設の検討

②中学校施設の検討

※1 前表と同様。

※2 学級数は各校とも1980年代にピークを迎え、その後減少が進んだのち第二中は一旦増加に転じ、2012年に小さなピークを迎えていることから、2012年時点の学級数は現施設でも確保可能と想定した

※3 支援学級数については、2021（令和3）年時点で最も支援学級比率が高い学校に準じて普通学級：支援学級＝6：5として試算した。

- 既設の中学校校舎は統合に伴う学級数の増を収容できる。
- 2032年（概ね10年後）の生徒数をベースに検討した。

パターン	統合先	施設の状況				2032年に確保すべき学級数※3	確保すべき学級数に対応する方策
		現状		参考			
		学級数 上段：普通 下段：支援	左記以外の居室数※1	2008年の学級数※2	ピーク年の学級数		
⑧-1 新中H 第二中＋第五中	第二中	13 (5)	14	16 (3)	1980 (2)	14 (12)	内部改修による対応 (専用教室等の転用)
⑧-2 新中H 第二中＋第五中	第五中	6 (5)	11	9 (2)	1986 (1)	14 (12)	校舎増築による対応 (既存敷地)

3. 通学距離の検討

■新設小学校の通学距離

- 国の基準によれば、適正な学校規模の条件として、通学距離が、小学校にあっては概ね4 k m以内、中学校は概ね6 k m以内とされているが、全てのパターンについてこの条件を満たしている。

パターン	従前校区 (太字は統合先)	現状通学距離		統合後通学距離		
		最短	最長	最短	最長	
②-1	新小学校A 鳥飼東小を鳥飼小に統合	鳥飼東小	0m	1,112m	246m	2,232m
		鳥飼小	0m	1,357m	同左	同左
②-2	新小学校A 鳥飼小を鳥飼東小に統合	鳥飼小	0m	1,357m	414m	2,293m
		鳥飼東小	0m	1,112m	同左	同左
③-1	新小学校B 鳥飼小を鳥飼西小に統合	鳥飼小	0m	1,357m	443m	2,710m
		鳥飼西小	0m	1,359m	同左	同左
③-1	新小学校C 鳥飼東小を鳥飼北小に統合	鳥飼東小	0m	1,112m	999m	2,645m
		鳥飼北小	0m	1,644m	同左	同左
③-2	新小学校B 鳥飼西小を鳥飼小に統合	鳥飼西小	0m	1,359m	953m	2,614m
		鳥飼小	0m	1,357m	同左	同左
③-2	新小学校C 鳥飼北小を鳥飼東小に統合	鳥飼北小	0m	1,644m	804m	3,491m
		鳥飼東小	0m	1,112m	同左	同左
④-1	新小学校D 鳥飼小と鳥飼東小を鳥飼西小に統合	鳥飼小	0m	1,357m	443m	2,710m
		鳥飼東小	0m	1,112m	1,680m	3,599m
④-1	新小学校D 鳥飼小と鳥飼東小を鳥飼西小に統合	鳥飼西小	0m	1,359m	同左	同左
		鳥飼小	0m	1,357m	414m	2,293m
④-2	新小学校D 鳥飼小と鳥飼西小を鳥飼東小に統合	鳥飼西小	0m	1,359m	2,063m	4,050m
		鳥飼東小	0m	1,112m	同左	同左
④-3	新小学校D 鳥飼西小と鳥飼東小を鳥飼小に統合	鳥飼西小	0m	1,359m	953m	2,614m
		鳥飼東小	0m	1,112m	246m	2,232m
④-3	新小学校D 鳥飼西小と鳥飼東小を鳥飼小に統合	鳥飼小	0m	1,357m	同左	同左
		鳥飼小	0m	1,357m	470m	2,635m
⑤-1	新小学校E 鳥飼小と鳥飼東小を鳥飼北小に統合	鳥飼東小	0m	1,112m	999m	2,645m
		鳥飼北小	0m	1,644m	同左	同左
⑤-2	新小学校E 鳥飼小と鳥飼北小を鳥飼東小に統合	鳥飼小	0m	1,357m	414m	2,293m
		鳥飼北小	0m	1,644m	804m	3,491m
⑤-2	新小学校E 鳥飼小と鳥飼北小を鳥飼東小に統合	鳥飼東小	0m	1,112m	同左	同左
		鳥飼北小	0m	1,644m	183m	2,767m
⑤-3	新小学校E 鳥飼北小と鳥飼東小を鳥飼小に統合	鳥飼東小	0m	1,112m	246m	2,232m
		鳥飼小	0m	1,357m	同左	同左

3. 通学距離の検討

■新設中学校の通学距離

パターン		従前校区 (太字は統合先)	現状通学距離		統合後通学距離	
			最短	最長	最短	最長
⑧-1	新中学校H 第五中を第二中に統合	第五中	0m	2,192m	654m	3,610m
		第二中	0m	2,578m	同左	同左
⑧-2	新中学校H 第二中を第五中に統合	第五中	0m	2,578m	364m	3,946m
		第二中	0m	2,192m	同左	同左

鳥飼地域における学校規模適正化について⑫

4. まとめ

【小学校と中学校をそれぞれ統合により整備するパターン】

小学校部分		パターン②	小規模校2校のみ統合（新小A：鳥飼小+鳥飼東小）					
中学校部分		パターン⑧	中学校2校統合（新中H：第二中+第五中）					
区分	学校		将来推計 上段：児童生徒数、下段：学級数				敷地	最長通学距離 (m)
			2021実績	2032	2042	2052		
児童生徒数 及び学級数	案	新小A（鳥飼小+鳥飼東小）	393	221	194	122	②-1鳥飼小	2,232m
			13	11	6	6	②-2鳥飼東小	2,293m
		鳥飼西小	450	373	407	351	現位置	1,359m
			16	12	12	12		
	鳥飼北小	354	290	312	245	現位置	1,644m	
		13	12	12	12			
		716	454	456	405			⑧-1第二中
新中H（第二中+第五中）		22	14	15	12	⑧-2第五中	3,946m	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 統合に伴う既設校舎の改修（新小A） 通学距離の変動に伴う子どもの安全対策 統合後の跡地の有効活用（鳥飼小又は鳥飼東小） 							

鳥飼地域における学校規模適正化について⑬

4. まとめ

【小学校と中学校をそれぞれ統合により整備するパターン】

小学校部分	パターン③	2校ずつ統合（東西）				敷地	最長通学距離 (m)
中学校部分	パターン⑧	中学校2校統合（新中H：第二中＋第五中）					
区分	学校	将来推計 上段：児童生徒数、下段：学級数					
		2021実績	2032	2042	2052		
児童生徒数 及び学級数	新小B（鳥飼小＋鳥飼西小）	650	514	523	425	③-1鳥飼西小	2,710m
		22	18	18	16	③-2鳥飼小	2,614m
	新小C（鳥飼北小＋鳥飼東小）	511	370	390	293	③-1鳥飼北小	2,645m
		17	12	12	12	③-2鳥飼東小	3,491m
	新中H（第二中＋第五中）	716	454	456	405	⑧-1第二中	3,610m
		22	14	15	12	⑧-2第五中	3,946m
課題	<ul style="list-style-type: none"> 統合に伴う既設校舎の改修（新小B、新小C） 通学距離の変動に伴う子どもの安全対策 統合後の跡地の有効活用（鳥飼小、鳥飼東小、第二中又は第五中） 						

小学校部分	パターン④	小規模校2校と鳥飼西小の3校を統合（新小A：鳥飼小＋鳥飼西小＋鳥飼東小）				敷地	最長通学距離 (m)
中学校部分	パターン⑧	中学校2校統合（新中H：第二中＋第五中）					
区分	学校	将来推計 上段：児童生徒数、下段：学級数					
		2021実績	2032	2042	2052		
児童生徒数 及び学級数	新小D（鳥飼小＋鳥飼西小＋鳥飼東小）	814	594	601	473	④-1鳥飼西小	3,599m
		26	18	18	18	④-2鳥飼東小	4,050m
						④-3鳥飼小	2,614m
	鳥飼北小	347	290	312	245	現位置	1,644m
		12	12	12	12		
新中H（第二中＋第五中）	716	454	456	405	⑧-1第二中	3,610m	
	22	14	15	12	⑧-2第五中	3,946m	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 統合に伴う既設校舎の改修（新小D） 通学距離の変動に伴う子どもの安全対策 統合後の跡地の有効活用（鳥飼西小、鳥飼小、鳥飼東小、第二中又は第五中） 						

4. まとめ

【小学校と中学校をそれぞれ統合により整備するパターン】

小学校部分	パターン⑤	小規模校2校と鳥飼北小の3校を統合（新小E：鳥飼小＋鳥飼北小＋鳥飼東小）					
中学校部分	パターン⑧	中学校2校統合（新中H：第二中＋第五中）					
区分	学校	将来推計 上段：児童生徒数、下段：学級数				敷地	最長通学距離 (m)
		2021実績	2032	2042	2052		
児童生徒数 及び学級数	新小E（鳥飼小＋鳥飼北小＋鳥飼東小）	724	511	506	367	⑤-1鳥飼北小	2,645m
		25	18	18	12	⑤-2鳥飼東小	3,491m
						⑤-3鳥飼小	2,767m
	鳥飼西小	437	373	407	351	現位置	1,359m
		12	12	12	12		
新中H（第二中＋第五中）	716	454	456	405	⑧-1第二中	3,610m	
	22	14	15	12	⑧-2第五中	3,946m	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 統合に伴う既設校舎の改修（新小E） 通学距離の変動に伴う子どもの安全対策 統合後の跡地の有効活用（鳥飼小、鳥飼東小、第二中又は第五中） 						